

# Oracle SQL Pad

Version 1.1.1

**TECH-BEE**

info@techbee.biz

## はじめに

このプログラムは、Oracle から指定した SQL の結果を取得するものです。  
次の特徴があります。

- ・ 定周期で自動的に値を再取得する
- ・ 取得結果の縦横を入れ替える
- ・ 取得結果を Excel に出力する際に、使用した SQL も同一ファイルの別シートに出力する
- ・ アイコンやタイトルバーの文言を自由に変更可能
- ・ 同一環境への新たな SQL の発行が容易

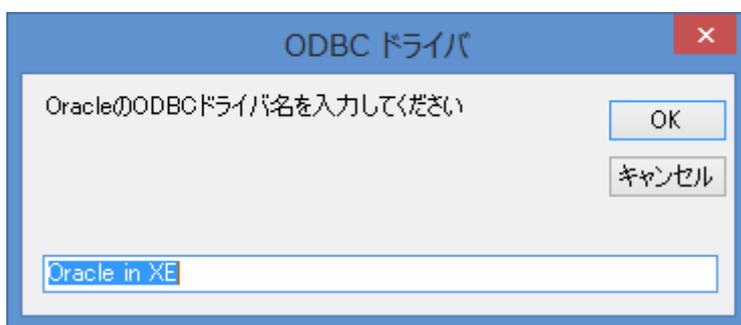
システム開発時の結合テスト時に、さまざまな処理により刻々と変化するデータを観察しエビデンスを作成することを目的に開発しました。

## セットアップ

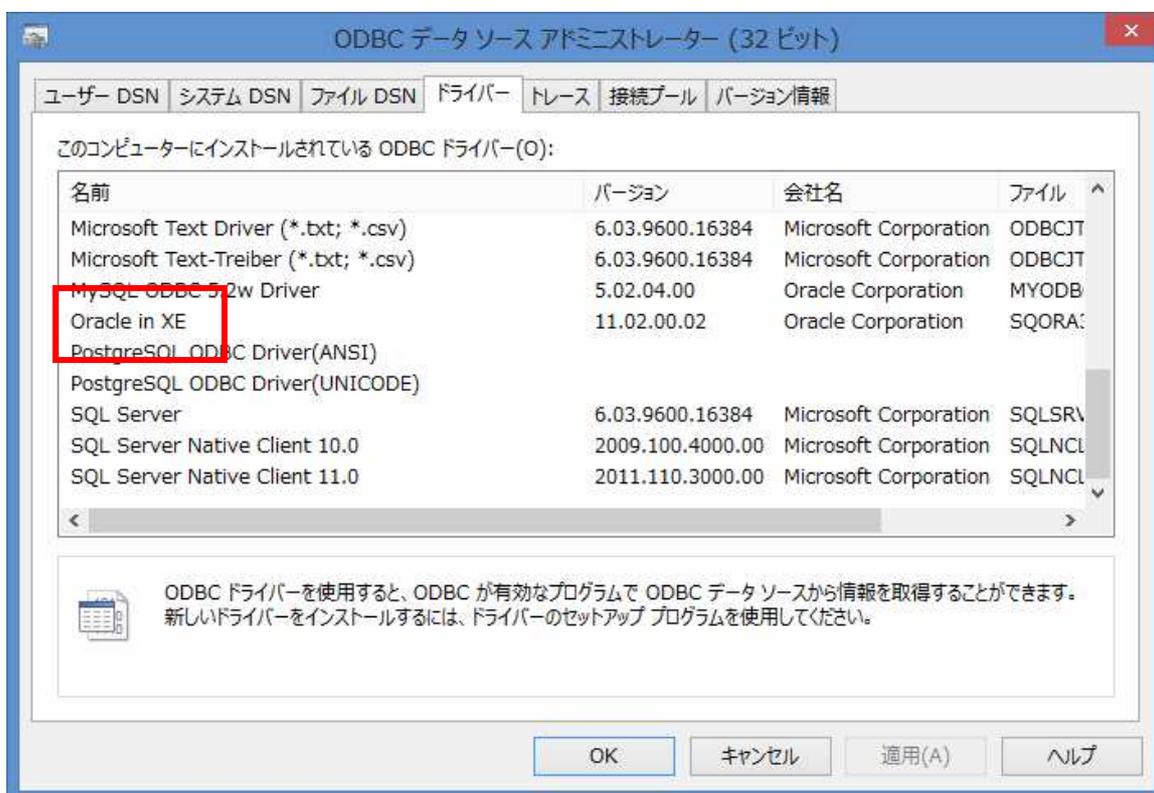
ダウンロードしていただいたファイルを解凍後すべてのファイルを任意のフォルダーに配置してください。

## 操作方法

1. 初回プログラム起動時にのみ表示する入力ボックスにて、使用する ODBC ドライバの指定を行います。



「ODBC データソースアドミニストレーター」の「ドライバー」タブを開き、Oracle のドライバー名を入力してください



※ 明示的に 32bit 版としてコンパイルしてありますので、64bit 版 OS を利用している方は、32bit 版の ODBC ドライバから選択してください。

※ ドライバを変更したいときは、同一ディレクトリ内に作成される ini ファイルを編集してください

2. 接続情報を入力してデータベースにログインします。



ログイン

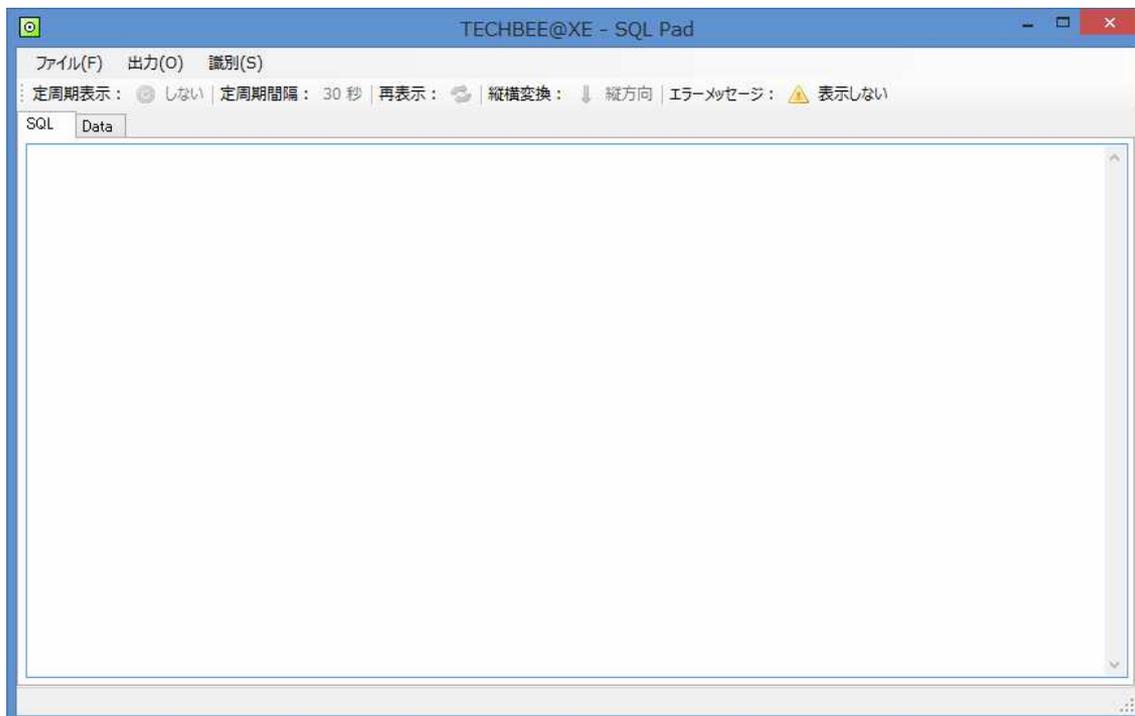
ユーザーID

パスワード

ホスト名

※ 2回目以降は直前にログインに成功した情報を自動的にセットされます。

3. 画面中央の編集エリアに SQL タブに SQL を入力し、Data タブに切り替えると取得結果をグリッドに展開します。



## ■ 画面説明

### メニュー

#### ・ファイル

接続先変更	再度ログイン画面を開きます。
クローン生成	同一接続情報を持った画面を追加します。
閉じる	操作している画面を終了します。
終了	クローン作製により複製したものを含めすべての画面を終了します。

#### ・出力

Excel	グリッド上に展開した結果を <b>Excel</b> に出力します。 また、データ取得用の <b>SQL</b> を2つ目のシートに出力します。 ※ グリッドの機能により並べ替えをしていればそのように出力します。
CSV	Excel と同様に <b>CSV</b> ファイルを出力します。

#### ・識別

アイコン変更	アイコンをダルマ・数字・アルファベットから自由に選択できます。
タイトル変更	タイトルバーの文字列を自由に変更できます。

### アイコン

#### ・定周期表示

しない	定周期表示をしません
する	定周期表示をします。 ※ 初回設定時のみ定周期間隔を指定してください

#### ・定周期間隔

定周期表示で再表示する秒数を指定します。

#### ・再表示

任意のタイミングでデータベースの値を再取得して表示します。

#### ・縦横変換

縦方向	標準的な状態で取得したデータを展開します。
横方向	取得したデータの縦横を反転し、レコードを横方向に展開します。 定周期表示と組み合わせることによりデータを観察するのに役立てください

※ データ取得行数を 255 行までに制限しています。

• エラーメッセージ

表示しない

SQL 発行時のエラーメッセージを表示しません。

表示する

SQL 発行時のエラーメッセージを表示します。